



**大野 高裕**  
T-UNITE プログラム責任者・早稲田大学理工学術院教授

【経歴】

1988年早稲田医学大学院理工学研究科博士課程修了 工学博士  
早稲田大学専任講師、助教授を経て教授、現在に至る  
プロフィットデザインに関する企業評価やマーケティング・エンジニアリングの研究に従事



**三浦 淳**  
公益財団法人川崎市産業振興財団 理事長

1975年 横浜国立大学経済学部卒業 川崎市役所 入所  
2010年 副市長に就任  
2018年6月～公益財団法人川崎市産業振興財団 理事長

中小企業・ベンチャーの成長支援に向けて、2021年4月から、新たに各種施策を横串に刺した「総合的な相談サービスの提供」をスタートさせ、中小企業の事業再構築支援などを進めている。

また、川崎市と連携し、新川崎地区における「KBIC 本館・NANOBIIC・AIRBIC」を中心としたオープンイノベーションを進めるとともに、殿町キングスカイフロントにおいては、世界水準のライフサイエンスクラスターの形成に向け、体内病院の実現をめざす「ナノ医療イノベーションセンター」の運営と同エリアにおけるクラスターマネージメントを展開している。



**大谷 泰夫**  
神奈川県立保健福祉大学 理事長

1953年生まれ。1976年厚生省に入省。厚生労働省大臣官房長、厚生労働省医政局長、厚生労働審議官などを務める。2014年から16年に内閣官房参与（健康・医療戦略等担当）、15年から17年まで日本医療研究開発機構初代理事などを歴任、18年4月に現職に就任。

「未病」の考え方の普及や、ヘルスイノベーションの推進に努力する。また日本保育協会、健康マスター検定協会にて理事長。



**岡部 信彦**  
川崎市健康安全研究所 所長

昭和46年慈恵医大卒。同大小児科で研修。帝京大小児科、慈恵医大小児科助手。神奈川県立厚木病院小児科、都立北療育園小児科など勤務。昭和53-55年米国バンダービルト大小児科感染症研究室、帰国後国立小児病院感染科、神奈川県衛生看護専門学校付属病院小児科部長。平成3-7年WHO西太平洋地域事務局（フィリピン）伝染性疾患予防対策課課長。帰国後慈恵医大小児科助教授、平成9年国立感染症研究所感染症情報センター室長、平成12年感染症情報センター長、平成24年川崎市衛生研究所（現川崎市健康安全研究所）所長。



**高梨 憲爾**  
公益財団法人川崎市産業振興財団  
殿町キングスカイフロントクラスター事業部 部長

1983年4月 川崎市役所入庁  
2005年4月～2006年3月 教育委員会幸市民館長  
2006年4月～2007年3月 教育委員会事務局職員部勤労課主幹（勤務条件・制度担当）  
2007年4月～2008年3月 教育委員会事務局総務部企画課主幹（適正規模担当）  
2008年4月～2010年3月 教育委員会事務局総務部企画課長  
2010年4月～2011年3月 教育委員会事務局学校教育部指導課長  
2011年4月～2015年3月 教育委員会事務局職員部長  
2015年4月～2017年3月 川崎市高津区役所副区長、まちづくり推進部長兼務  
2017年4月～2020年3月 川崎市高津区長  
2020年5月～ 公益財団法人川崎市産業振興財団担当理事、殿町キングスカイフロントクラスター事業部長



**石原 美和**

**神奈川県立保健福祉大学実践教育センター長兼保健福祉学部教授**

神奈川県川崎市生まれ。日本赤十字看護大学看護学科卒業、筑波大学大学院体育学研究科健康教育学専攻修士課程修了。虎の門病院、東京大学医科学研究所、厚生省（現厚生労働省）、宮城大学看護学研究科教授などを歴任し、2019年4月に、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授および実践教育センターセンター長に就任し現在に至る。研究テーマは、地域包括ケアシステムにおける自治体と医療機関看護部門や看護事業所の協働モデルの開発、看護関係政策の評価、社会福祉施設や保育所における感染対策。超高齢化多死社会に向けて、看護専門職の「全人的視点」と「親しさ」の価値を再評価したい。



**鄭 雄一**

**神奈川県立保健福祉大学副学長兼ヘルスイノベーション研究科長**

平成元年 東京大学医学部医学科を卒業、内科研修医および医員として勤めた後、東京大学大学院医学系研究科に入学。  
平成7年 在学中に米国マサチューセッツ総合病院に留学し、ハーバード大学医学部講師、助教授を勤めた。  
平成19年 東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻教授  
平成25年 JSTセンター・オブ・イノベーション「自分で守る健康社会」拠点副機構長・研究リーダー  
平成28年 東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター教授を兼務  
平成31年 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科長を兼任（クロスアポイントメント）  
令和3年 神奈川県立保健福祉大学の理事、副学長も兼任



**松永 早苗**

**神奈川県立保健福祉大学実践教育センター実践研究担当課長兼保健福祉学部准教授**

令和3年3月宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程博士（看護学）を卒業、感染管理認定看護師として臨床現場と看護基礎教育に携わってきた。令和3年4月より現在の神奈川県立保健福祉大学実践教育センターにおいて、感染管理認定看護師教育課程の専任教員、実践教育センターの研究担当課長を担っている。



**加藤 聖隆**

**Landing PAD Tokyo Executive Director**

1993年 早稲田大学理工学研究科電気工学専攻博士課程 修了  
株式会社日立製作所半導体事業 入社  
1997年 米国KLA-Tencor社 入社  
1999年 株式会社ケイテックリサーチ社 起業  
2005年 有限会社サーフクリーン代表取締役  
2016年 さがみはらIoT研究会（相模原市IoT推進ラボ）コーディネーター  
2017年 サレジオ高専非常勤講師  
2018年 ケイスクエア代表 さがみはらロボット導入支援センターコーディネーター  
2019年 相模原市経済交流コーディネーター  
2020年 Landing Pad Tokyo Executive Director 株式会社クリエイティブラボ代表取締役  
2021年 Mixing Lab Inc. CTO 公益財団法人国民工業振興会 事務局長 DMZ EIR（日本関連コーチ）



**間島 哲也**

**川崎市臨海部国際戦略本部 担当課長**

2003年 川崎市役所入庁  
健康福祉局、港湾局、危機管理室、シティプロモーション推進室等を経て  
現在 臨海部国際戦略本部国際戦略推進部 勤務



**朝日 透**  
**早稲田大学理工学術院教授**

早稲田大学にて、1992年に博士（理学）、2007年に経営学修士を取得し、Super Technology Officer (STO) となる。早稲田大学の理工学部応用物理学科助手、各務記念材料技術研究所助教授、理工学総合研究センター助教授、先端科学・健康医療融合研究機構教授などを経て、現在、早稲田大学生命医科学科・専攻およびナノ理工学専攻の教授、5年一貫制博士課程先進理工学専攻の主任教授、グローバル科学知融合研究所所長、ナノ・ライフ創新研究機構副機構長を務める。将来のアントレプレナーやイントレプレナーを育成する WASEDA-EDGE 人材育成プログラムに取り組み、実行副委員長を務める。学際的研究を推進し、イノベーション人材の育成に精力的に取り組んでいる。専門は、キラル科学、生物物性科学、結晶光学、機能性薄膜、対称性の破れ、コオロゲノム関連研究。



**島岡 未来子**  
**神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール教授 / 早稲田大学研究戦略センター教授**

**【経歴】**

早稲田大学公共経営研究科博士課程修了（公共経営博士）。2011年、早稲田大学商学学術院 WBS 研究センター助手、同大学准教授等を経て 2021 年より現職。

アントレプレナーシップ教育に 2014 年から関わり、現在は WASEDA-EDGE 人材育成プログラム事務局長として複数のプログラムの企画運営に携わる。デザイン思考、リーンスタートアップなどの手法を学ぶ実践的授業を展開。（一財）生涯学習開発財団認定コーチでもあり、コーチングの教育への導入にも積極的に取り組んでいる。著書に、Entrepreneurship education at Waseda University, Japan: challenges in integrating entrepreneurship education programs across universities and beyond, Heidi M. Neck and Jeffrey A. eds. \*Innovation in Global Entrepreneurship Education: Teaching Entrepreneurship in Practice\*, Edward Elgar(2020), 「早稲田大学で実施する場のイノベーション」『場のイノベーション』中央経済社 (2018) ほか。